Mobile Video HDD
（モバイルビデオハードディスク）

取り扱い説明書
（NV-HV355）

本書の構成

本書は、次の構成になっています。
・「安全にお使いいただくために」
本製品を安全に使っていただくための取り決めを記載しています。必ずお読みいただき、守っていただけますようお願いします。
・第1章「始めにお読みください」
本製品のサポート方法、また、本マニュアルをお読みになるために、必要な事項が記載されています。ここも必ずお読みくださるようお願いします。
・第2章「お使いになる前に」
本製品の電源を入れる前にやることを記載しています。
・第3章「実際の使用方法」
ハードディスクから再生する方法について記載しています。
・第4章「詳細設定」
本製品をより深く使っていただくための、細かい設定方法について記載してあります。
・第5章「付録」
このマニュアルに記載している専門の用語についての解説や、本製品が動作しないときの対処方法について記載してあります。

商標・著作権について

DivXは米国DivXNetworks社の米国またはその他の国における登録商標または商標です。
Windowsは米国Microsoft社の登録商標または商標です。
その他、文中の商品名・会社名などは、一般に各社の登録商標または、商標です。
本書は「著作権法」によって、著作権等の権利が保護されています。本書の一部または全部について弊社から文書による許諾を得ずに無断で転載、または複写（コピー）することは、著作権等の権利侵害となる場合がありますのでご注意ください。

安全にお使いいただくために

本製品を安全に使っていただき、あなたや他の人々、あるいは財産への損害を未然に防止するため、以下の注意事項をお読み下さい。下記注意事項を本書に従って、正しく安全に使用して下さい。

警告

異常に気がついたら

万が一、変なにおいがする、煙が出るなどの異常に気がついたら、すぐにACアダプタを抜いて、本製品の使用を中止してください。お客様自身により分解や修理は危険ですので、サポートセンターにご連絡ください。

本製品を落とさない

本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。そのまま使用を続けると、内部の部品のショート、破壊などで火災になる恐れがあります。すぐにACアダプタを抜いて、使用を中止してください。

付属品のAC アダプタを使用する

付属品以外のACアダプタを使用すると火災発生の原因になります。また、付属の電源ケーブルも本製品の使用以外で使わないでください。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない

濡れた手で、本製品を使用すると感電の原因になります。

本製品を分解しない

たとえ修理の目的であっても本体やACアダプタを分解しないでください。火災や感電の原因となります。またメーカーで責任を負うことができず保証対象外となります。

電源コードを破損しない

無理に曲げる、押さえつける、加工するなどで電源コードに傷をつけると感電や火災の原因になります。

モノや水をいれない。 本体内部やACアダプタ内部に燃えやすいものや金属類を差し込んだり入れたりしないでください。火災や感電の原因になります。

水のそばに置かない

コップや花瓶など水が入った器の近くや風呂場や台所など水のかかる場所では使用しないでください。水が本体やACアダプタ内部に入ると火災や感電の原因になります。

自動車やボートなどの運転中は使用しない

自動車やボートなどを運転中に本製品を使用しないでください。重大な事故の原因になります。

⚠ 注意

機器の上に乗ったり落とさない

機器の使用は丁寧に行い、落下などに十分に気をつけてください。製品の破損の原因になるだけでなく、怪我の原因になります。また、本製品の上に他の物は載せないでください。傷がついたり故障の原因になります。

ケーブル類の取り扱いに注意

乳幼児や愛玩動物などの首にケーブル類が巻きつくと死亡に至るなど重大事故の恐れがあります。

電源プラグはコードを持って抜かない

必ず電源プラグを持って抜いてください。コードを持って抜くと、コードが破損して火災や感電の原因になります。

直射日光のあたる場所や強磁界、強電解の場所では使用しない。

本製品を下記の場所で使用すると重大な故障原因や火災の原因になります。

1) 直射日光のあたる場所
2) 強い磁界、静電気の発生する場所
3) ほこりの多いところ
4) 振動の発生するところ
5) 平らでないところ 長時間使用しないときは電源プラグを抜く。 旅行などで長時間本機を試用しないときは、必ず電源ケーブルをコンセントから抜いてください。

電源プラグは確実に差し込む

電源プラグが確実に根元まで差し込まれていないと火災や感電の原因になります。

乳幼児の飲み込みに注意

本製品には乳幼児の口に入る部品があります。飲み込まないように十分に管理してください。

結露したまま使用しない

温度と湿度の突然の変化で、暖かい空気と本製品部品が接した時に結露することがあります。（結露とはいわゆる「汗」をかいた状態で、冬の窓に水滴がついたような状態です）本製品が結露した状態では正常に操作できませんが、結露が解除した後、再び正常に操作できます。 本製品が凍結し正常に操作できない時は、本製品を操作できるまで室温で1,2時間程度放置してください。ただし、時間は環境により異なります。

データのバックアップを行う

本製品に実装するハードディスクの中に必要なデータがある場合は、実装前に、データのバックアップを行ってください。バックアップの作成を怠ったために、データを消失、破損した場合、弊社はその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

目次

はじめにお読みください

1-1 本製品の仕様 6
1-2 製品の保証とサポートについて 7
1-3 パッケージの内容 9
1-4 各部の名称 10
1-5 制限事項 11

お使いになる前に

2-1 ハードディスクの実装 12
1) ハードディスクの設定 12
2) ハードディスクの実装 12
3) PCとの接続 15
4) ハードディスクの初期化の方法 15
2-2 リモコンについて 16
2-3 TVとの接続 17
1) コンポジットビデオ/オーディオ出力の接続 17
2) コンポーネントビデオ出力の接続 18
3) COAXIALの接続 18

実際の使用方法

3-1 電源の入れ方 19
3-2 “SMART NAVI”画面での操作 19
3-3 ファイルの操作 21

詳細設定

4-1 本製品の設定 26
1) 基本設定 26
2) オーディオ設定 27
3) ビデオ設定 27
4) 詳細設定 28
5) DIVX®登録 28

付録

5-1 用語集 29
5-2 困ったとき FAQ 32

1-1 本製品の仕様

本体仕様	大きさ	196 x 58 x 126 mm
	重量	約390g　（ハードディスク、ケーブルは含みません）
	電源	入力 DC 12V
	ACアダプタ仕様	入力 AC 100V~240V 50/60Hz 出力 12V 2A
	動作温度	5℃～35℃　湿度　8%～80%（結露なきこと）
	保存温度	0℃～40℃　湿度　5%～95%（結露なきこと）
	OSD言語	日本語/英語を含む8ヶ国語対応
外部出力	対応TV	NTSC/PAL
	コンポジット出力	3ピンピンジャック（ビデオとオーディオ共通）
	コンポーネント出力	3ピンピンジャック
	デジタルオーディオ	Coaxial
ハードディスク仕様	PCインタフェース	USB2.0 タイプBコネクタ
	対応ハードディスク	3.5” IDEインタフェース (2.5”ハードディスクおよびSATAインタフェースのハードディスクは使えません。)
	対応OS	Windows XP/2000
	対応フォーマット	FAT32/NTFS
	再生可能フォーマット	MP3ファイル、JPEGファイル、MPEG1ファイル、MPEG2ファイル、DivX/MPEG4ファイル ※Q-PEL・GMCファイルには対応していません。 ※ DivX6には対応しておりません。対応しているのは、DivX 3/4/5です。
	対応ファイルの拡張子	映像:dat, mpg, mpe, mpeg, vob, avi, divx, xvid 音声: mp3, mp2, wav 静止画: jpg, jpeg

1-2 製品の保証とサポートについて

■ **製品保証**

・この製品には保証書が添付されています。
・所定事項の記入および記載内容をお確かめの上、大切に保存してください。
お買い上げ店とご購入日の記入がない場合は、お買い上げ票（レシート）を必ず一緒に保存してください。
・保証期間はお買い上げ日より 1 年間です。

■ **アフターサービス**

● 調子が悪いときはまずチェックを
調子が悪いときはまずこの説明書をもう一度ご覧になって調べてください。それでも具合の悪い場合は、ノバックサポートセンターまでお問い合わせください。

● 修理をお申込の場合は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

■ **ユーザー登録**

ユーザー登録をお願いいたします。
ご登録いただかないとアフターサービスを受けられない場合がありますのでご登録手続きを必ずお願いいたします。
http://www.novac.co.jp/signup/index.html

■ **ユーザーサポート**

本製品および本説明書に対するお問い合わせは、下記へお願いいたします。

住所 ： 〒113-0033 東京都文京区本郷 3-38-1 本郷イシワタビル 5F
株式会社ノバック サポートセンター
サポート専用電話 ： (03)3817-0938
受付時間 ： 月曜～金曜（祝祭日、および弊社休業日は除く）
AM10:00～PM12:00 PM1:00～PM5:00
e-mail： users@novac.co.jp

● お問い合わせの前に、まずこのセットアップガイドの「故障かな？困ったとき FAQ」をもう一度ご覧になってください。また弊社のホームページにアクセスしていただくと、製品の最新情報や FAQ などを掲載しておりますので、ご参照ください。

http://www.novac.co.jp/support/index.html

● お問い合わせの際には、お使いになっているパソコンの機種名/環境、不具合状況などを詳しくお教えください。

● 電話がかかりにくい場合は、e-mail でお問い合わせください。
● e-mail でのお問い合わせは、翌営業日以降の回答とさせて頂きます。
● e-mail や電話で重複してお問い合わせの場合は、その旨お知らせいただけると助かります。

1-3 パッケージの内容

本製品には、以下のものが含まれています。最初にパッケージの中にすべてのものが含まれているかどうかをご確認ください。

１．HV355本体
２．ACアダプタ、電源ケーブル　（本製品に付属のACアダプタと電源ケーブルは、本製品以外では、お使いにならないようにお願いします）
３．コンポジットケーブル
４．コンポーネントケーブル
５．リモコン・リモコン用電池
　（本製品の底面にあります。電池は、リモコンに実装済みです）
６．USBケーブル
７．ネジ　（ハードディスク取付用、後面モールド取付用）
８．保証書
９．取扱説明書（本書）
１０．ユーザー登録案内書

万一、不足品がありましたら、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。
なお、箱や梱包材は大切に保管し、修理などの輸送の際にご利用ください。

1-4 各部の名称

①	リモコン受光部	リモコンは、ここに向けて操作してください。
②	リモート表示(赤)	リモコンからの信号を受信したときに赤色で点灯します。
③	電源表示（青）	本製品に電源が入ると青色で点灯します。PCに接続したときは、ハードディスクにアクセス中、点滅します。
④	電源ボタン	このボタンを押すと、本製品に電源が入ります。また、1秒以上押し続けると、電源が切れます。
⑤	電源入力	DC 12Vの入力端子です。付属のACアダプタを接続してください。
⑥	1394端子	本製品にはこの端子はありません。
⑦	USB端子	パソコンのUSB端子と付属のUSBケーブルで接続します。
⑧	コンポジットAV出力	コンポジットのビデオとオーディオの出力端子です。
⑨	コンポーネントビデオ出力	コンポーネントのビデオ出力端子です。
⑩	Coaxial端子	デジタルオーディオの出力端子です。
⑪	SCART端子	ヨーロッパ規格のビデオ/オーディオ出力端子です。 本端子は、動作保障外ですので、ご了承ください。

1-5 制限事項

本製品には下記の制限事項があります。
■　映像出力を家庭用テレビ以外の機器（例えばビデオデッキなど）を経由して接続した場合、正常に表示されない場合があります。
■　ビットレートあるいはフレームレートの高い、MPEG2ファイルやDivXファイルなどの映像ファイルを再生させたとき、スムーズに再生できない場合があります。
■　再生する映像によっては、巻き戻し、早送りができない場合があります。
■　Mac で使用する場合には、あらかじめWindowsパソコンで、ハードディスクをFAT32 でフォーマットする必要があります。Macでフォーマットした状態では、本製品で動作しない場合があります。NTFSでフォーマットすると、Macで使用できません。
■　ハードディスクをFAT32でフォーマットされた場合、下記の制約があります。
1) 4GB 以上のファイルが扱えません。
2) 1つのパーティションのサイズは、32GBまでです。例えば、120GBのハードディスクを実装しても32GBのハードディスクとしてしか使えません。
3) 漢字(2バイト文字)を使ったフォルダ、ファイルは、正常に表示されません。
NTFSフォーマットにすれば、1),2)については、無制限に使えます。
3)については、全角文字で26文字まで正常に表示されます。
■　ハードディスクのフォルダの中にたくさんのファイルを保存すると、読み込みに時間がかかります。再生するファイルは整理してフォルダ分けして保存してください。
■　最初のパーティションの中にあるデータしか再生できません。ハードディスクに複数のパーティションを作った場合、最初のパーティションしか再生できません。二つ目以降のパーティションに入ったデータの再生はできません。
■　「DISPLAY」ボタンを押して表示される再生経過時間は、映像の最初約10秒間は表示されない場合があります。

2-1　ハードディスクの実装

ここでは、本製品にハードディスクを実装する方法やパソコンでの初期化の方法などについて記載します。

1)　ハードディスクの設定

本製品に実装するハードディスクは、マスターモードあるいはシングルモードに設定してください。

この設定は、ドライブによって異なりますが、必ず、このモードを設定するジャンパーがハードディスクにはあります。

Singleモードがある場合は、Single（シングル）モードにしてください。

Singleモードがない場合は、Master（マスター）モードにしてください。

設定方法は、ハードディスクの上面などに記載があるはずです。

CS（ケーブルセレクト）やSlave（スレーブ）では、PCで認識できても動画の再生ができない場合があります。

2)　ハードディスクの実装

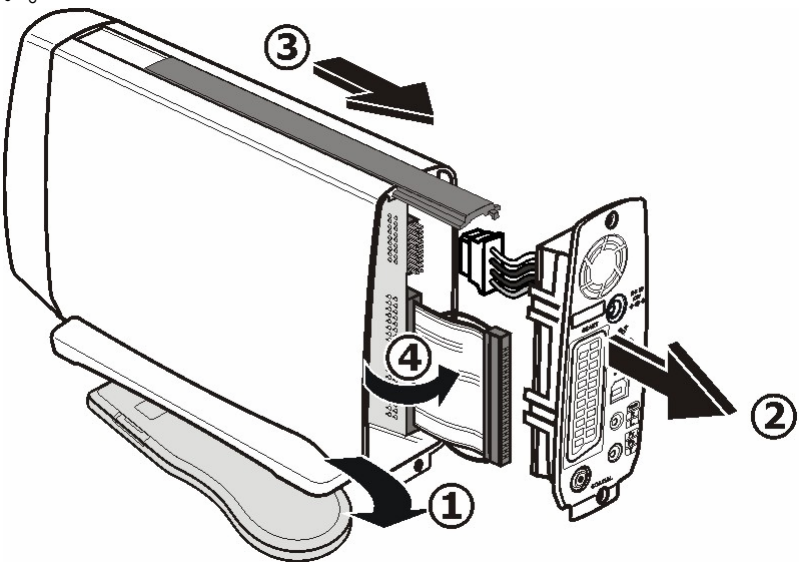
下図を参照してください。ハードディスクを実装する前の準備です。

① 本体の裏にリモコンが付いています。それを取り外してください。

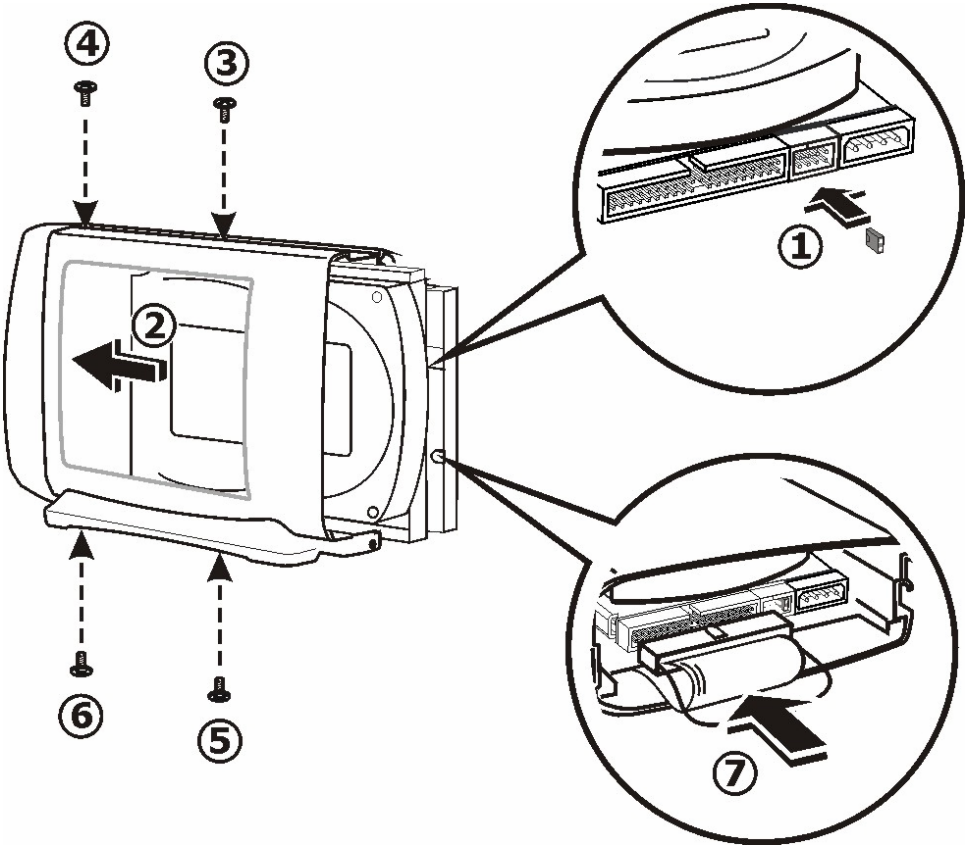
② 後面のモールドを取り外してください。

③ 上面のモールドを後方向にスライドさせ取り外してください。

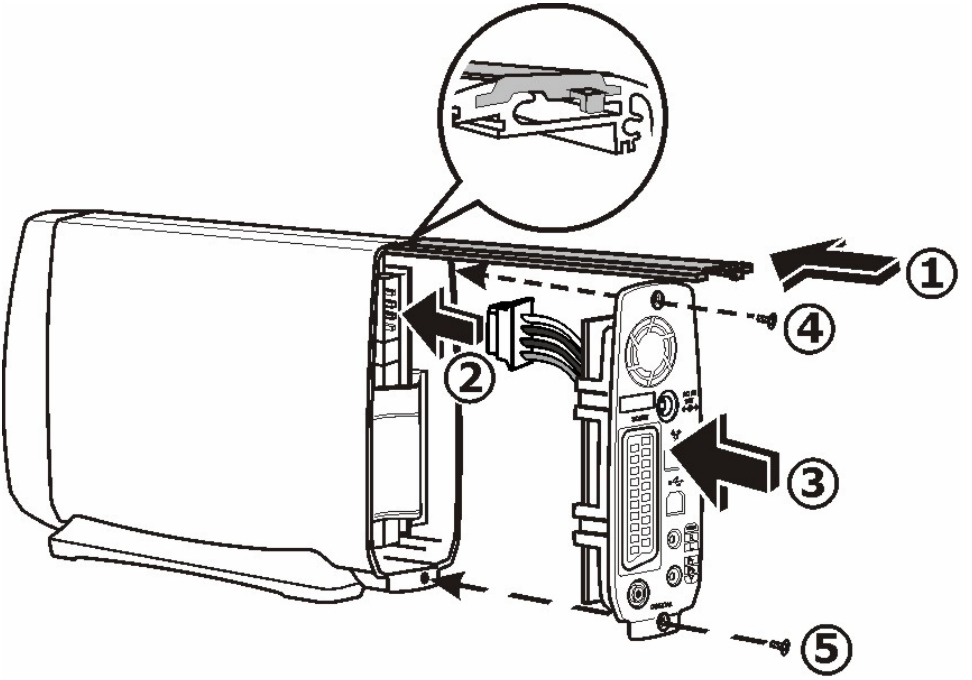
④ ケース内部のフラットケーブル（IDEケーブル）をケースの外に出してください。



下図を参照してください。ケースで、手を傷つけないように注意してハードディスクを実装してください。
① ハードディスクをマスターに設定してください。
② ハードディスクをケース側に沿うようにしてケース内に入れてください。基板の突起物でハードディスクに傷が付かないように注意してください。
③④ 本体上部から付属のネジでハードディスクとケースを固定してください。
⑤⑥ 本体の下部から付属のネジでハードディスクとケースを固定してください。③④⑤⑥のネジは、同じ形のネジです。
⑦ フラットケーブル（IDEケーブル）をハードディスクに接続します。

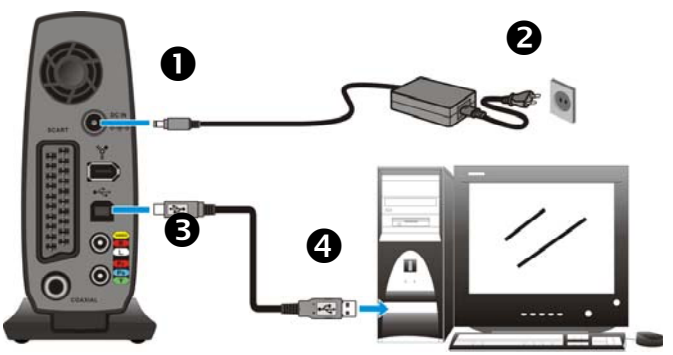


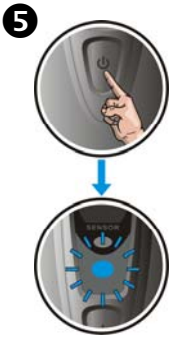
下図を参照してください。ハードディスク実装後の手順です。
① 最初に取り外した上面のモールドを元に戻します。
② 後面のモールドに付いている電源コネクタをハードディスクに接続します。
③ 後面のモールドをケースに収めてください。
④⑤ 付属のネジで、後面モールドとケースを固定してください。⑤のネジはタッピングネジ（先が細いネジ）です。注意してください。



これでハードディスクの実装完了です。

3)　PCとの接続
① ACアダプタを本製品に接続してください。
② 電源ケーブルを使って、ご家庭のコンセントに接続してください。
③ 付属のUSBケーブルを本製品に接続してください。
　PCの電源を入れて、Windowsを起動してください。
④ Windowsが起動したら、本製品に接続したUSBケーブルの反対側をPCのUSB端子に接続してください。
⑤ 本製品の電源スイッチを押してください。
これで本製品がPCに認識されます。





電源表示が点灯

4)　ハードディスクの初期化の方法
すでにデータが入っている場合は、初期化の必要はありません。
初期化をすると、ハードディスクの中のデータがすべて削除されますので、注意してください。

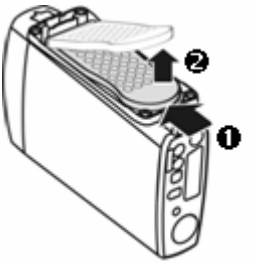
詳しくは下記を参照してください。
http://www.driver.novac.co.jp/driver/faq/format.html

必ず、「プライマリパーティション」で初期化してください。
また、最初のパーティションの中にあるファイルしか再生できません。
FAT32では、最大32GBです。それ以上の設定ができますが、最終的にエラーになってしまいます。注意してください。

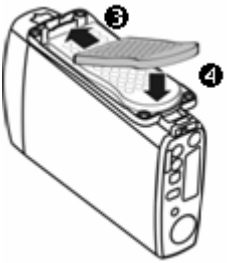
これで、PCの外付けハードディスクとして本製品が使えるようになりました。
PCから画像、動画あるいは音楽ファイルを本製品にコピーしてください。

2-2 リモコンについて

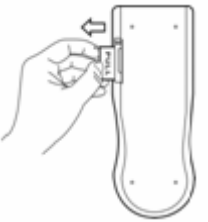
リモコンは、本体の底面にあります。
下記のように準備してください。



リモコンを取り外すには、右のように①の部分を押して②のように引き上げることで取り外せます。

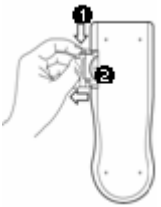


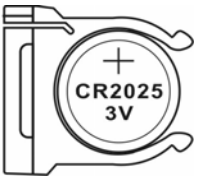
リモコンをつける場合は、取り外した場合の逆で、③の方向にずらしながら、④の方向に押すことで、本製品の底面に納めることができます。

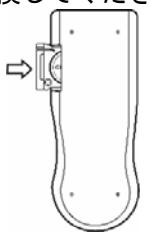


リモコンの電池はすでにリモコンに入っています。
右のようにタブを引き出すことで、リモコンが使えるようになります。

電池を交換する場合は、下記のように電池を取り出して交換してください。







2-3　TV接続

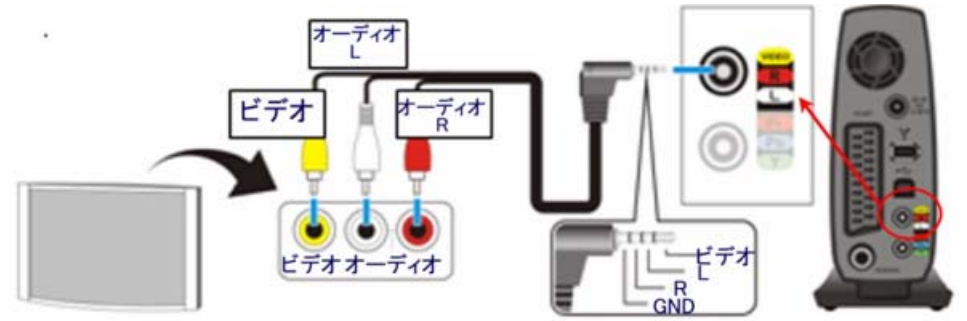
本製品を家庭用のテレビに接続する方法として、ビデオは、下記の2つの方法があります。
・コンポジットビデオ出力　（コンポジットオーディオと一緒になっています）
・コンポーネントビデオ出力（緑、青、赤のRCA 端子） --　コンポジット出力よりも、高品質の画質が得られます。

音声は、下記の2つのタイプがあります。
・コンポジットオーディオ出力　（コンポジットビデオと一緒になっています）
・COAXIALデジタルオーディオ出力（黒のRCA 端子）

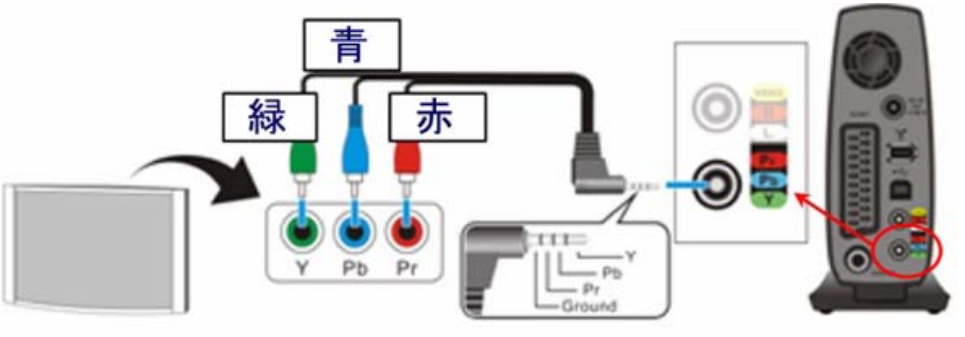
本製品には、コンポジットビデオ/オーディオ出力とコンポーネントビデオ出力のケーブルが付属されています。
COAXIAL端子を使う場合は、別途ケーブルをご用意ください。

注意：本製品には、SCARTビデオ出力も付いています。SCART出力は、ヨーロッパのTVで使うときのインタフェースです。
このSCRAT出力についての動作の保証は弊社では致しませんので、ご了承ください。

１）コンポジットビデオ/オーディオの接続方法
付属のケーブルで下記のように接続します。



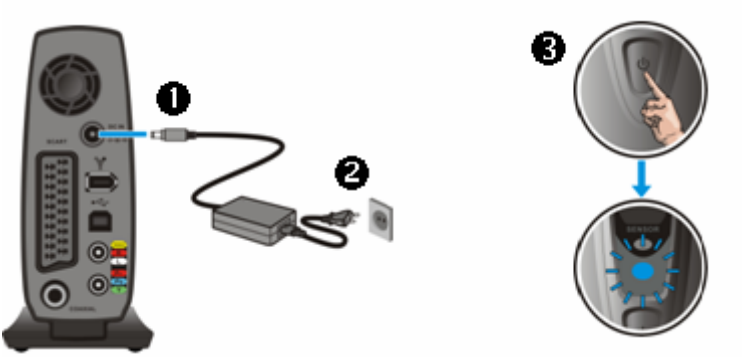
２）コンポーネントビデオ出力での接続
お使いの家庭用テレビにコンポーネントビデオの入力がある場合、本製品のコンポーネントビデオ出力を使われた方が画質は良くなります。
オーディオは、前述したコンポジットオーディオあるいは後述するCOAXIALデジタルオーディオの接続が必要です。



３）COAXIALの接続
COAXIAL 端子がある、テレビあるいは音響機器をお持ちの場合、本製品のCOAXIALデジタル出力端子を使われると、迫力のあるドルビーサウンドを楽しむことができます。市販のケーブルをご用意ください。

3-1　電源の入れ方

本製品に付属のACアダプタを接続してください。
電源スイッチを押すと、電源表示が青く点灯します。

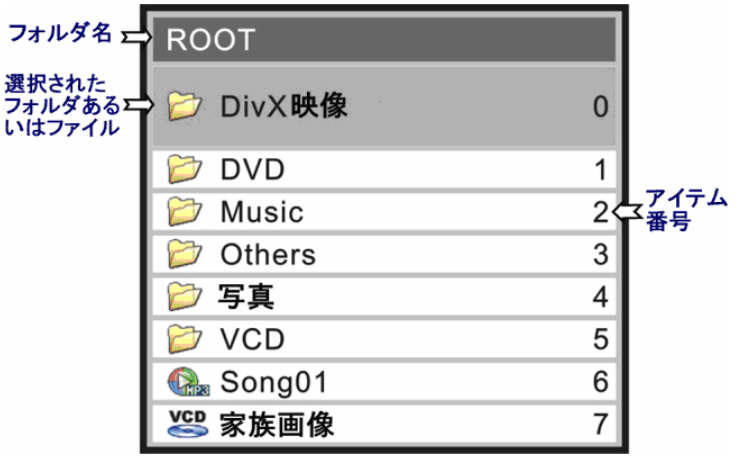


リモコンの左上の「STANDBY」ボタンを押してください。
これで、TV画面上に再生できるファイルが表示されます。
この画面を“SMART NAVI”と呼びます。

※　画面が大きくずれている場合（同期が取れていない場合）リモコンの
MENU + ▶▶ ボタンを何回か押してください。これで正常に表示できるようになるはずです。

3-2　“SMART NAVI”画面での操作

本製品に電源が入ると、下記のような画面が本製品を接続したTVに表示されます。



この画面に表示されるアイコンは下記のように分かれます。

	フォルダを示します。
	ここで、PLAYボタンを押すと、一つ前のフォルダに移動します。
	VIDEO_TS.IFOファイルであることを示します。
	MPEG1ファイルであることを示します。
	DivXあるいはXviDの画像であることを示します。
	DivXあるいはXviDの字幕データの入ったファイルであることを示します。同じファイル名の映像を再生したときに、字幕が表示されます。
	MPEGファイルであることを示します。Vobファイルもこのアイコンになります。
	MP3ファイルであることを示します。
	Waveファイルであることを示します。
	静止画（JPEG）ファイルであることを示します。
	本製品で再生できないファイルであることを示します。また、本製品で対応していない拡張子の場合、画面上に表示されませんし、再生できないファイルの場合でも画面上にそのファイルが表示されない場合もあります。

“SMART NAVI” の画面では、リモコンの右のボタンで基本的な操作ができます。
上下矢印ボタンで再生したいファイルあるいはフォルダを選択してください。
ファイルを選択し、「PLAY」ボタンを押すことでそのファイルの再生が始まります。

フォルダを選択し、右矢印ボタンを押すとそのフォルダの中に移動します。
（「PLAY」ボタンを押してもフォルダの中に移動します。ただし、その場合は、フォルダ内にあるファイルの再生が自動的に始まります）
左矢印ボタンを押すと、一つ前のフォルダに移動します。

「TITLE」ボタンを押すと、ROOT（一番先頭）フォルダに直接戻れます。

3-3　ファイルの操作

以下にリモコンによる操作方法と、その操作に対応しているファイルの種類について説明します。

停止と再生							
対応ファイル							
リモコン		停止ボタン		PLAYボタン			
停止	停止ボタンを押すとファイルの再生を停止し、“SMART NAVI”の画面に戻ります。						
あるいは の再生中							
リジューム	停止ボタンを押してから、他に何も操作をしないで、PLAY ボタンを押すと、停止ボタンを押した画面から再生が始まります。 再度、停止ボタンを押すことでこの機能がなくなります。						

一時停止							
対応ファイル							
リモコン		一時停止ボタン		PLAYボタン			
一時停止	一時停止ボタンを押すとファイルの再生を一時停止します。						
リジューム	一時停止ボタンを押して、他に何も操作をしないで、PLAYボタンを押すと、一時停止ボタンを押した画面から再生が始まります。						

次のファイル、前のファイル							
対応ファイル							
リモコン		次へボタン		前へボタン			
次のファイル	次へボタンを押すと次のファイルの再生を行います。						
前のファイル	前へボタンを押すと、一つ前のファイルの再生を行います。						

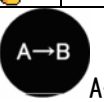
早送り、巻き戻し		
対応ファイル	DVD Windows VCD mpeg2 MP3 WMV	
リモコン	早送りボタン	巻き戻しボタン
早送り再生	早送りボタンを押すと、早送り再生ができます。	
巻き戻し再生	巻き戻しボタンを押すと、巻き戻し再生ができます。	

スロー再生・コマ送り再生		
対応ファイル	DVD Windows VCD mpeg2	
リモコン	一時停止ボタン	スローボタン
スロー再生	スローボタンを押すと、スロー再生ができます。	
コマ送り再生	一時停止ボタンを押して、一時停止モードで、スローボタンを押すと、コマ送り再生になります。	

コマ送り再生	
対応ファイル	DVD Windows VCD mpeg2
リモコン	スローボタン
スロー再生	スローボタンを押すと、スロー再生ができます。

インスタントスキップ		
対応ファイル	DVD Windows	
リモコン	左矢印ボタン	右矢印ボタン
インスタントスキップ	再生中に左あるいは右矢印ボタンを押すと、後ろあるいは前にスキップします。	

繰返し、シャッフル再生	
対応ファイル	
リモコン	繰返しボタン
再生モード	ファイルの再生中に繰返しボタンを押すと、「ファイル繰返し再生」⇒「フォルダ繰返し再生」⇒「ランダム再生」⇒「シャッフル再生」⇒「NORMAL」と再生モードの変更ができます。

A-B繰返し再生	
対応ファイル	
リモコン	 A→Bボタン
A-B繰返し再生	再生中に「A→B」ボタンを押します。これで、Aポイントが設定されます。再度「A→B」ボタンを押すと、Bポイントが設定され、AポイントとBポイントを繰返し再生します。 再度「A→B」ボタンを押すと、このモードが解除されます。

タイトルとチャプター検索再生		
対応ファイル		
リモコン	サーチボタン	上下左右矢印ボタン
タイトルとチャプター	再生中に「サーチ」ボタンを押すと、画面上部にタイトルとチャプターが表示されます。上下矢印ボタンで、タイトルとチャプターの数字を選択できます。また、左右矢印ボタンで、タイトルとチャプターの選択ができます。	
時間入力	再度、「サーチ」ボタンを押すと、時間入力の画面が表示されます。数字ボタンで、再生した時間を入力し、PLAYボタンを押してください。その時間からの再生が始まります。	

時間検索再生		
対応ファイル		
リモコン	サーチボタン	PLAYボタン
時間入力	「サーチ」ボタンを押すと、時間入力の画面が表示されます。数字ボタンで、再生した時間を入力し、PLAYボタンを押してください。その時間からの再生が始まります。	

字幕の変更	
対応ファイル	
リモコン	サブタイトルボタン
字幕の変更	再生中に「サブタイトル」ボタンを押すことで、字幕の変更ができます。ただし、再生しているタイトルに字幕の機能がついていない場合は、使用できません。

音声の変更		
対応ファイル		
リモコン	オーディオボタン	
音声の変更	再生中に「オーディオ」ボタンを押すことで、音声の変更ができます。ただし、再生しているタイトルに音声の切り替え機能がついていない場合は、使用できません。	

アングルの切り替え	
対応ファイル	
リモコン	アングルボタン
アングルの切り替え	再生中に「アングル」ボタンを押すと、アングルの切り替えができます。ただし、再生しているタイトルにアングルの切り替え機能がついていない場合は、使用できません。

ズーム機能			
対応ファイル			
リモコン	ズームボタン	早送りボタン	巻き戻しボタン
ズーム機能	動画再生中「ズーム」ボタンを押すと、約2倍のズーム表示になります。上下左右の矢印ボタンで、表示位置を移動できます。静止画表示中「ズーム」ボタンを押すと、ズーム機能が使えるようになります。そこで、早送り、巻き戻しボタンを押すことで、画像の大きさを変更できます。 再度「ズーム」ボタンを押すことで、元の状態に戻ります。		

静止画ファイルの回転	
対応ファイル	
リモコン	上下左右矢印ボタン
静止画の回転	静止画の表示中に上下左右ボタンを押すと、再生されている静止画が回転します。

時間の表示	
対応ファイル	
リモコン	表示ボタン
時間の表示	再生中に「表示」ボタンを押すと、「経過時間」⇒「残り時間」⇒「表示OFF」の切り替えができます。

音量の変更		
対応ファイル		
リモコン	音量アップ	音量ダウン
音量の変更	音量アップあるいは音量ダウンボタンを押すと、音量の調整ができます。本製品の電源を切ると、最大音量に戻ります。	

4-1 本製品の設定

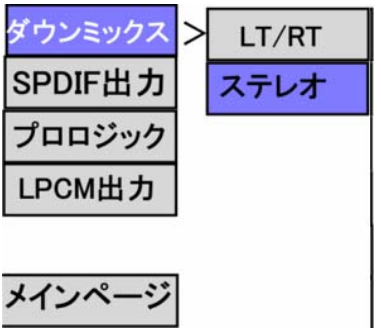
“SMART NAVI”の画面で、「SETUP」ボタンを押すと、下の「設定」画面が表示されます。この設定画面で、本製品の色々な設定ができます。 ここでは、この「設定」の使い方について説明します。

「上下左右」ボタンでカーソルを移動し、「PLAY」ボタンを押して項目を決定します。

１）基本設定
「基本設定」にカーソルを合わせ、「PLAY」ボタンを押すと、下記の画面が表示されます。 以下、それぞれの項目について説明します。

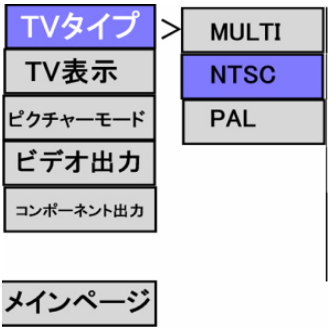
OSD言語：本製品が画面上に表示される言語の設定です。
DVD音声：DVD ビデオの音声の設定ができます。これは、再生するDVD ビデオのメニューで設定できますので、このままお使用ください。
DVD字幕：DVD ビデオの字幕言語の設定ができます。これは、再生するDVD ビデオのメニューで設定できますので、このままお使用ください。

２）オーディオ設定
「オーディオ設定」にカーソルを合わせ、「PLAY」ボタンを押すと、下記の画面が表示されます。 以下、それぞれの項目について説明します。



ダウンミックス：LT/RT あるいはステレオ出力のいずれにするか選択できます。
SPDIF出力：COAXIAL出力を使って、音声出力する場合には、SPDIF/RAWあるいはSPDIF/PCM を選択してください。
アナログオーディオ出力を使う場合は、OFFにしてください。
プロロジック：プロロジック出力をOFF にするかON にするかあるいは自動にするか選択できます。
LPCM出力：LPCM 出力を48k にするか96k にするか選択できます。

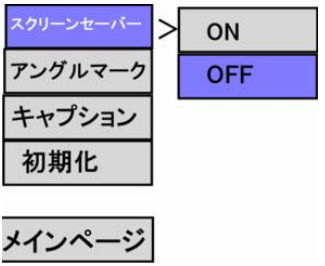
３）ビデオ設定
「ビデオ設定」にカーソルを合わせ、「PLAY」ボタンを押すと、下記の画面が表示されます。 以下、それぞれの項目について説明します。



TVタイプ：本製品を接続するテレビが、NTSCかPALあるいはマルチタイプかの選択です。 日本のテレビの場合は、NTSC になります。
TV表示：16:9 サイズの映像を再生するときの画面サイズを設定します。テレビ

への表示を
4:3 PS（パンスキャン）
4:3 LB（レターボックス）
16:9 にするかの選択です。
ピクチャーモード: ピクチャーモードの選択です。自動、FILM、VIDEO、SMART そして S SMART（Super Smart）の選択です。
ビデオ出力: コンポジット出力とコンポーネント出力あるいはSCART出力の設定です。いずれか一つしか使えません（同時使用不可）ここで、どちらを使うか選択します。
コンポーネント出力：コンポーネントビデオ出力で、インターレスで表示するかプログレッシブで表示するかの選択ができます。

４）詳細設定
「詳細設定」にカーソルを合わせ、「PLAY」ボタンを押すと、下記の画面が表示されます。 以下、それぞれの項目について説明します。



スクリーンセーバー：メニューや設定画面を表示中にリモコンの操作が数分ないとスクリーンセーバーの画面に切り替わる機能の選択です。
アングルマーク：アングル機能があるとき、そのマークを表示するかいなかの設定です。
キャプション：キャプション機能のあるタイトルを再生しているとき、それを有効にするかどうかの設定です。
初期化：この詳細設定の値を工場出荷時の状態に戻します。

５）DIVX®登録
DIVX®登録にカーソルを合わせ、「PLAY」ボタンを押すと、DivXの「Registration code」が表示されます。
有料のコンテンツをダウンロードして見る場合、このコードを使います。

5-1 用語集

ここでは、このマニュアルに記載した用語について、説明します。

DVD ビデオ関連

■ 地域コード

DVDビデオには指定された国や地域以外では再生できなくするようなコードをDVD規格に含めました。そのコードを地域コードと呼んでいます。（リージョンコードとも呼ばれています）DVDビデオのパッケージに、そのDVDビデオがどの地域で再生可能か記載されています。

■ タイトル/チャプター

DVDビデオには、タイトルとチャプターに区切って映像が記録されています。タイトルは、その区切りの一番大きな単位です。多くは、1つのDVDビデオが1つのタイトルになっています。チャプターは、タイトルをいくつかに区切って、各チャプターごとに頭出しできるようになっています。

ファイルの種類関連

■ MP3

音声圧縮フォーマットの1 つです。音楽をそのままパソコンに取り込むとファイルの容量（サイズ）が大きすぎ、保存に困ってしまいます。また、ネットワークを通して配信することもファイルの容量が大きいと、時間がかかってしまいます。MP3 は、元の音質を損なわずに圧縮できる形式です。

■ DivX

映像圧縮フォーマットの1つです。MP3と同じで、映像をそのままパソコンに取り込んだり、ネットワークを通して配信するには、ファイルの容量（サイズ）が大きく実用に耐えられません。 DivXは、小容量で高画質を実現した圧縮形式です。

■ MPEG1/MPEG2

MPEG1は、ビデオCDに用いられている映像の圧縮方式です。CD一枚に74分の映像（352x240の解像度）を保存できます。MPEG2は、DVDビデオに用いられている映像の圧縮方式です。

■ ビットレート

Bit per second（BPS）で表す値です。一秒間のデータ量を示します。この値が大きいほど、画質は良くなりますが、ファイルの容量は大きくなります。

映像/オーディオ関連

■ コンポジットビデオ

もっとも一般的な映像信号の伝送方式で１本のケーブルで映像情報を伝送します。一般的には、黄色のRCAピンケーブルで接続します。

■ コンポーネントビデオ
コンポジット信号に対し、映像信号をR,G,B信号、あるいは輝度信号と色素信号に分解した信号です。赤、緑、青の3色に分かれたコンポーネントケーブルで通常接続します。
■ ドルビーデジタル
ドルビー社が開発したデジタル・サラウンド・フォーマット（音声圧縮技術）でDVDの標準音声使用になっています。
■ DTS
デジタル・シアター・システムズ社が開発したデジタル・サラウンド・フォーマット（音声圧縮技術）の名称です。ドルビーデジタルよりも低い圧縮率を採用しており、クリアで厚みのある音質の5.1ch サウンドが再生できるといわれています。
■ DOWNMIX（ダウンミックス）
リアスピーカの音声成分（チャンネル）を含むドルビーデジタルで記録されているDVD を2チャンネルに変換して再生する方法です。下記の2つの方法があります。
RT/LT：サラウンド用にマルチチャンネル音声処理をした2ch出力。
ステレオ：ステレオ用にマルチチャンネル音声をミックスした2chで出力。
■ 4:3 PS/4:3 LB/16:9
16:9 で作られた映像を再生するときに、接続するテレビに合わせて、再生時の画面サイズの選択です。
4:3 PS（パンスキャン）：4:3画面のテレビとつなぐとき、ワイド画像の場合は、横長のまま表示し、画面の上下は黒く表示。
4:3 LB（レターボックス）: 4:3画面のテレビとつなぐとき、ワイド画像の場合は、映像の左右を自動的にカットしてテレビ画面全体に表示。
16:9 ：ワイドテレビにつなぐとき使用。
■ プログレッシブ
本製品では、コンポーネントビデオ出力でプログレッシブ対応のテレビに接続したときだけ有効になりますが、コンポジットビデオで接続した時の倍の走査線を持つ高密度な映像信号です。 コンポジットビデオの出力信号は、インターレス信号と呼びます。
■ プロロジック
ドルビーサラウンドエンコードされた音声を元の4ch に復元させる技術です。元の音声がドルビーサラウンドエンコードされていないステレオ音声の場合、十分な効果は発揮できません。
■ SPDIF
Sony Phillips Digital Interface の略です。デジタル音声を扱うインタフェース形式で、RCAコネクタを使った同軸タイプあるいは角型光コネクタが一般的です。

■ COAXIAL
SPDIF出力のRCAコネクタの端子をCOAXIAL端子と本製品では呼んでいます。同軸デジタルケーブルで接続します。
■ LPCM
リニア・パルス・コード・モジュレーション（符号化変調）の略で、アナログ信号を圧縮をかけずにデジタル信号に変換する音声記録方式です。音楽CDの記録方式として使われています。
■ SPDIF/RAW、SPDIF/PCM
SPDIF/RAW : ドルビーデジタルまたはDTS で記録されたDVDを再生したときは、ビットストリーム信号を出力します。リニアPCM で記録されたディスクを再生したときは、リニアPCM信号を出力します。
SPDIF/PCM: ドルビーデジタルで記録されたDVDを再生したときは、2ch PCMに変換して出力されます。DTSで記録されたDVDを再生したときは、ビットストリーム信号を出力します。
※　本製品はDTSオーディオには対応しておりません。

<u>ハードディスク関連</u>
■ LBA
Logical Block Addressing の略です。ハードディスク内のセクタを指定する方法として、以前はシリンダ／ヘッド／セクタという3つのパラメータで指定していたが、現在はLBAを使用して、ブロックアドレスという単一のパラメータで指定する方法です。
■ パーティション
通常ハードディスクなどのドライブは、１台で１つのドライブとして認識されています。しかし、ソフトで区切ることで１台のハードディスクを2台3台と分割することができます。これをパーティションを切るといいます。たとえば100GB のハードディスク1 台を50GB（Cドライブ）と50GB（Dドライブ）に分けて、前者をウィンドウズなどのシステムとアプリケーション用のドライブ、後者をユーザーのデータ保存用のドライブとして使用することができます。ウィンドウズでは通常「FDISK」というソフトを使って、パーティションの設定をします。
■ FAT32
Windows 95 用にFAT16を拡張して32 ビットで管理できるようにした規格です。FAT16では最大2GB のパーティションしか扱えませんでした。FAT32では、4GBまで扱えるようになりました。
■ NTFS
Windows NT用に開発されたファイルシステムで、ユーザーのアカウントに応じてファイルへのアクセスを制御できるなど、MS-DOSやWindows 9xで使われるFAT／FAT32に比べ、セキュリティ機能や信頼性が強化されています。

5-2 困ったとき FAQ

質問1：電源表示が青色で点灯しない。（電源が入らない。）
回答1：下記のことを確認してください。
１）ACアダプタは、付属の物を使っていますか？また、付属の電源ケーブルでご家庭の100Vのコンセントに接続していますか？接続を確認してください。
２）電源スイッチを押しましたか？電源スイッチを押してください。
３）後面のモールドがしっかりケースに収まっていない可能性があります。固定しているネジを外して再度確認してください。

質問2：映像が家庭用のテレビに表示されない。
回答2：下記のことを確認してください。
１）リモコンのSTANDBYボタンを押しましたか？電源表示が点灯していても、リモコンのSTANDBYボタンを押さないとTV画面には表示されません。(19ページ参照)
２）付属のコンポジットケーブルあるいは、コンポーネントケーブルでご家庭のTVと接続していますか？接続を確認してください。(17,18ページ参照)
３）TV出力のモードが違っている可能性があります。リモコンの

を何回か押してください。
４）家庭用のTVのビデオ入力の選択を確認してください。家庭用のテレビの入力に「ビデオ１」とか「ビデオ２」とかの選択ができるボタンがあると思います。本製品と接続した入力をそのボタンで選択してください。

質問3：音声が出力されない。
回答3：下記のことを確認してください。
１）本製品とオーディオ出力機器（家庭用のテレビなど）の接続がされていない。本製品の背面にコンポジットオーディオあるいはCOAXIAL端子があります。そのいずれかを接続しているか確認してください。(18ページ参照)
２）コンポジットオーディオを使っている場合、本製品の「詳細設定」の「オーディオ設定」⇒「SPDIF出力」が「OFF」になっていることを確認してください。「OFF」になっていないと、コンポジットオーディオから音声が出力されません。(27ページ参照)
３）COAXIAL端子を使っている場合、本製品の「詳細設定」の「オーディオ設定」⇒「SPDIF出力」で、「SPDIF/RAW」あるいは「SPDIF/PCM」になっていることを確認してください。再生しているファイルによっては、「SPDIF/RAW」あるいは「SPDIF/PCM」のいずれかでないと音声が出力されない場合があります。(27ページ参照)

質問4：リモコンが操作できない。
回答4：下記のことを確認してください。
リモコンのいずれかのボタンを押すと、本製品のリモート表示が赤で点灯します。その点灯があるか確認してください。点灯しない場合、下記を確認してください。
１）リモコンの電池部分にあるタグを抜いてください。(16ページ参照)
２）電池が消耗している可能性があります。交換してみてください。
３）本製品のリモコン受光部に向かってリモコンを操作してください。

リモート表示部が点灯する場合
１）本体の不良と思われます。弊社で修理させてください。

質問5：映像が正常に表示されない。
回答5：下記のことを確認してください。
１）本製品をビデオ機器経由で接続している。本製品を直接家庭用のテレビに接続してください。
２）ビットレートの高いMPEG2ファイル（例えば10MB以上）や60フレーム以上のDivXファイルの再生をしているとスムーズに再生できない場合があります。ビットレートあるいはフレームレートを少し落としてください。9.8MB、30フレーム以下を推奨します。
３）本製品にあったファイルを再生していない。ファイル形式によっては、映像が正常でも、音声がでなかったり、音声と映像が同期していなかったりします。本製品の規格にあったファイルを再生してください。

質問6：リッピングしたDVDビデオ再生中に「AUDIO」などのボタンが動作しない。
回答6：DVDビデオでそれらの機能に対応していないあるいはそれらの機能を入れないでリッピングした可能性があります。DVDビデオによっては、複数の言語、字幕、アングルなどに対応していない物があります。そのようなDVD ビデオの場合、「AUDIO」などのボタンが操作できません。

質問7：ファイルの再生ができない。
回答7：下記のことを確認してください。
１）本製品の規格外のファイルを再生している。ファイルの種類、画質その作り方で再生できない場合があります。本製品の規格にあったファイルか確認ください。
２）ファイルが壊れている。 ファイルが壊れているかどうかパソコンで確認してください。
３）著作権保護されたファイルを再生している。著作権保護されたファイルは再生できません。

質問8：ハードディスク内のファイルが“SMART NAVI”上に表示されない。
回答8：実装したハードディスクのフォーマットが違っている可能性があります。ハードディスクは、WindowsのFAT32 あるいはNTFS形式また、プライマリパーティションで最初のパーティションしか対応していません。
再度、PCに接続して確認してみてください。
また、ハードディスクがマスターモードあるいはシングルモードになっているか確認してください。

質問9：本製品がパソコンに認識されない
回答9：下記のことを確認してください。
１）USB ケーブルあるいはAC アダプタが正常に接続されていない。付属のUSBケーブルとAC アダプタを正常に接続しているか確認してください。
２）パソコンのUSB のドライバが正常にインストールされていない。パソコンの「デバイスマネージャ」を開いて、USB のドライバが正常にインストールされているか確認してください。
３）Windows Me あるいは98SE で使っている。HD カセットは、Windows 2000/XP用です。Meあるいは98 では、認識できません。
４）HD カセットに実装したハードディスクの初期化が必要「マイコンピュータ」にアイコンが表示されない場合、「ディスク管理」を開いて認識されているかどうか確認してください。「ディスク管理」で認識されていれば、ハードディスクの初期化をすることで認識され、「マイコンピュータ」にアイコンが表示されます。
５）HD カセットに実装したハードディスクが壊れている。 ハードディスクを交換してください。

質問10：DivXのVer.6には対応しているのですか？
回答10：本製品で対応しているのは、DivX3/4/5です。DivX6には対応していません。

NV-HV355
Mobile Video HDD 取扱説明書
第 1 版　2006 年 7 月
株式会社　ノバック
HV355060720